

2021年5月10日

プロポフォール静注1%20ml,50ml,100ml、2%50ml「マルイシ」、
ドルミカム注射液 10mg（丸石製薬）の出荷調整
および それに伴う
1%ディプリバン注 20ml,50ml,100ml、1%ディプリバン注-キット 20ml,50ml（アスペンジャパン）
の出荷調整について

公益社団法人日本麻酔科学会
理事長 小板橋俊哉

プロポフォール静注1%20mL「マルイシ」につきまして、2021年3月26日付で案内しましたように3月29日より出荷調整を解除しておりましたが、COVID-19の第4波による人工呼吸を必要とする重症患者の増加に伴い、鎮静剤の需要が想定を超え、特にプロポフォール静注1%50ml,100ml「マルイシ」がひっ迫している状況です。世界的な需要の増加もあり、生産が追いつかない状況です。このため、解除して1か月ほどであります。供給確保を目的とした出荷調整を再度実施するとの報告を丸石製薬より受けました。

今回は代替品として想定されますミダゾラム（丸石製薬製品名：ドルミカム注射液10mg）や、プロポフォール静注1%20mL,50ml,100ml「マルイシ」、並びにプロポフォール静注2%50mL「マルイシ」に関しましても、既存採用医療機関先への供給確保をするために、出荷調整が実施されます。

この不足分を他社で補うことは困難であり、丸石製薬の出荷調整に合わせてアスペンジャパンも既存の施設への供給を優先させるため1%ディプリバン注全製品を出荷調整に入ります。

詳細は丸石製薬およびアスペンジャパンから医療関係者宛に出されています「鎮静剤供給に関するお詫びと出荷調整のお知らせ」「1%ディプリバン注出荷調整のお知らせ」を合わせてご覧ください。

なお、临床上は他の静脈麻酔薬や吸入麻酔薬の使用を、特に麻酔維持においては吸入麻酔薬の使用を考慮するなど、患者さんに支障が無い範囲での麻酔薬の選択に努めてください。

調整解除の時期につきましては、確定次第改めて周知させていただきます。

以上、ご理解の上、ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。